

# 三条市子ども・若者総合サポートシステム 平成 27 年度活動実績・平成 28 年度活動計画 【虐待防止部会】

## 《平成 27 年度活動実績》

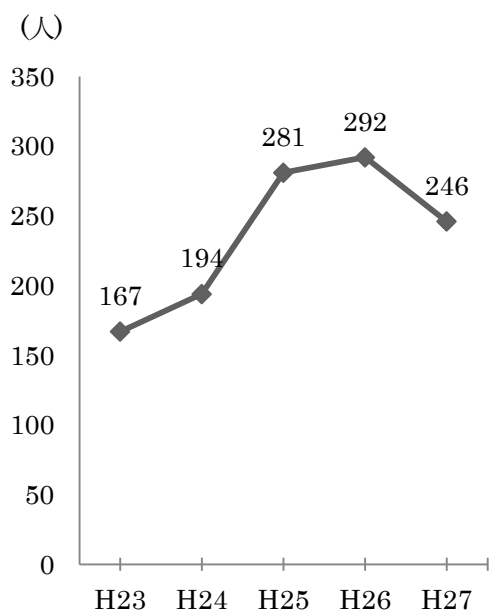
### 1 虐待防止部会 対象者の把握状況と対応

(1) 虐待管理件数（平成 28 年 3 月末現在）

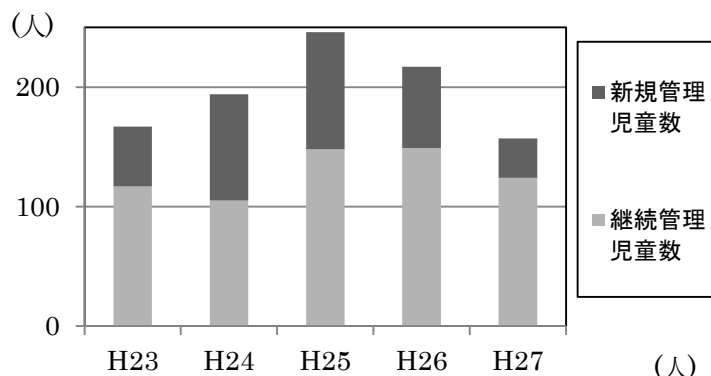
127 人(再：特定妊婦 3 人)

(2) 子どもの虐待に関する相談状況

ア 相談対応人数の推移(実人数)  
(虐待管理児童含む)

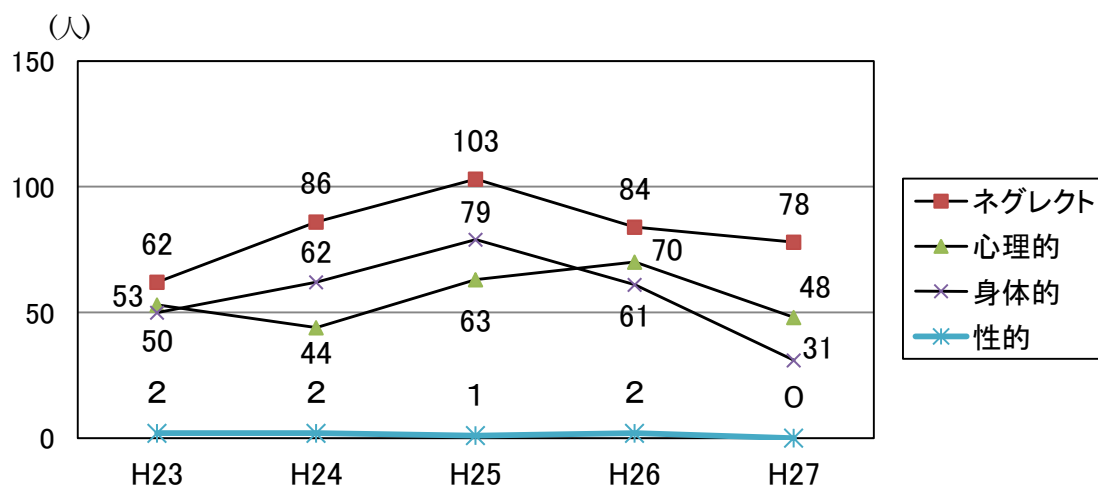


イ 年間虐待管理児童数の推移(特定妊婦を含む)



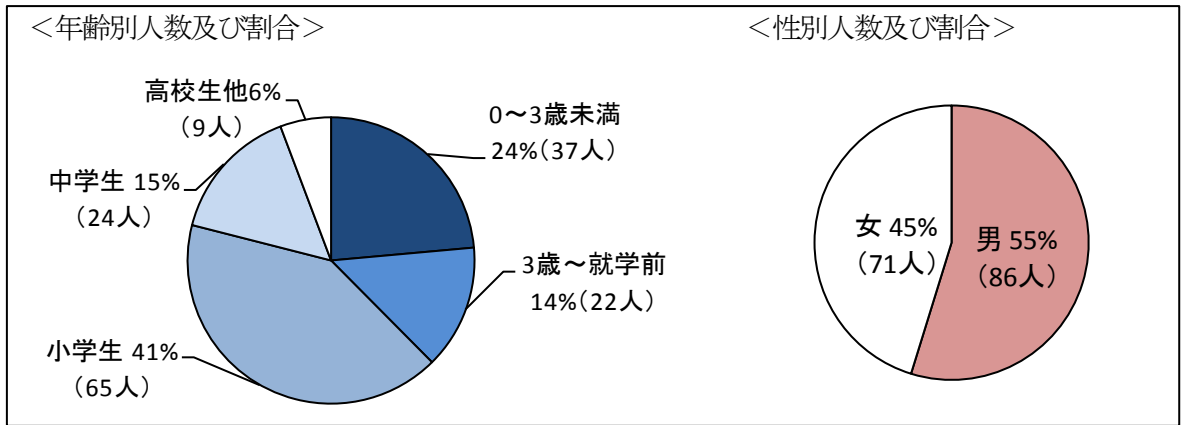
	H23	H24	H25	H26	H27
新規管理児童数	50	89	98	68	33
継続管理児童数	117	105	148	149	124
合計	167	194	246	217	157

ウ 種類別内訳の推移

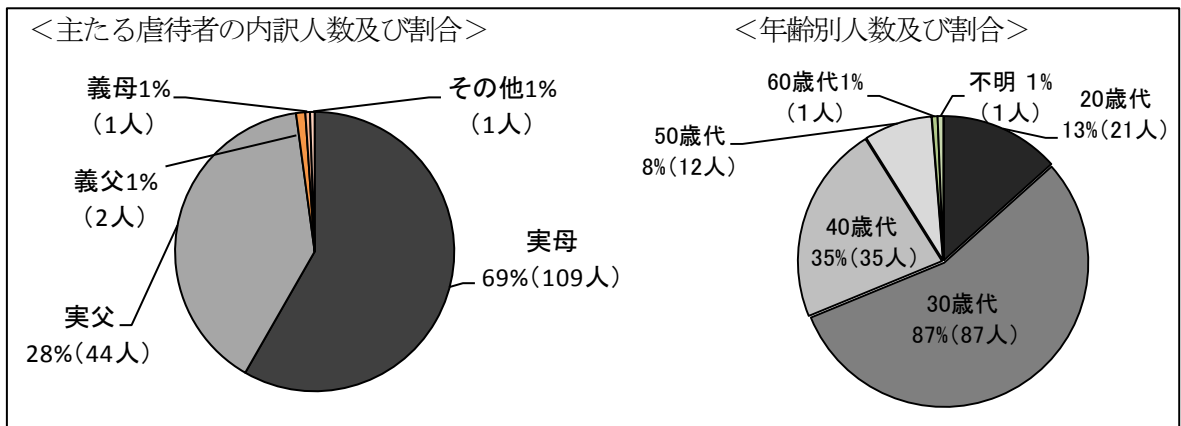


(3) 平成 27 年度 被虐待児及び虐待者の状況

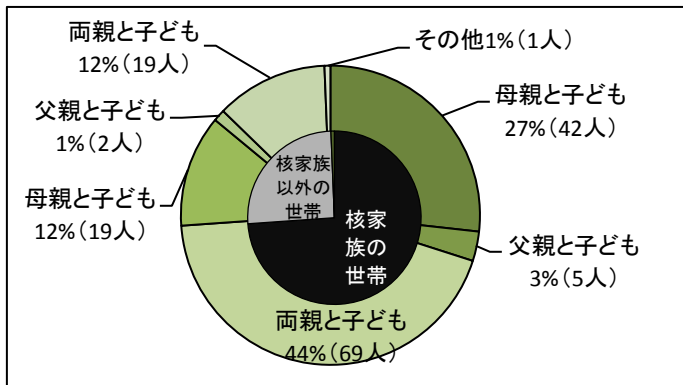
ア 被虐待児の状況



イ 虐待者の状況



ウ 家族構成の状況



エ 受付経路別

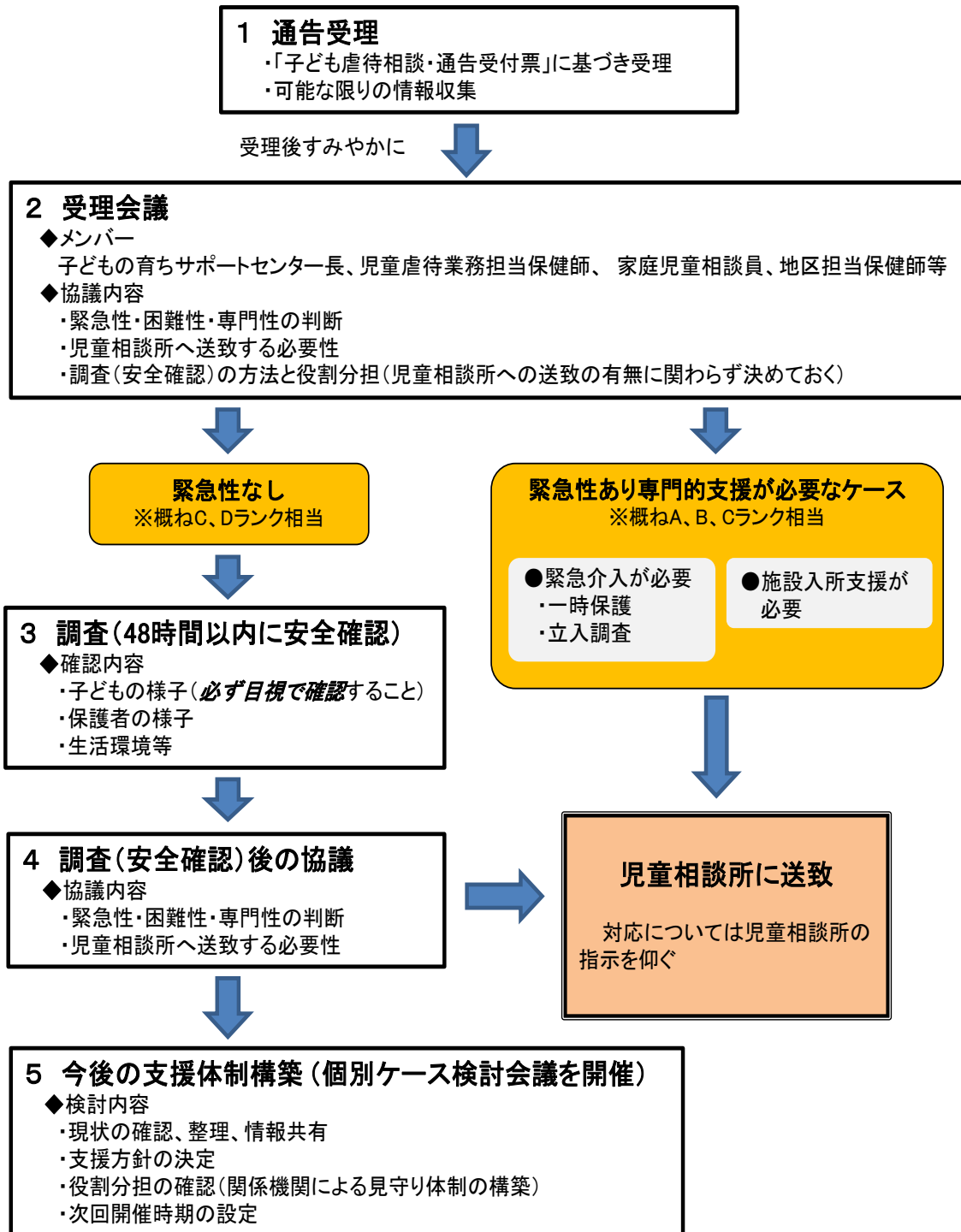
	家族親戚	近隣知人	保育所・幼稚園	小・中学校	福祉事務所	児童相談所	警察	保健所	医療機関	その他	計
被相談者(人)	13	1	16	32	31	22	8	4	6	24	157
割合 (%)	8	1	10	20	20	14	5	3	4	15	100

オ 一時保護人数(緊急の保護が必要な子どもを児童相談所が一時的に保護すること)

	H23	H24	H25	H26	H27
延人数(人)	11	19	15	21	17
実人数(人)	9	15	14	16	10

(4) 受理後の対応

## 三条市児童虐待対応フローチャート



※三条市重症度判定区分

A(生命の危機) B(重度) C(中度) D(軽度)

参考資料: 市町村子ども虐待対応ガイドライン(新潟県)

## 2 虐待防止部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加機関数
実務者会議	第1回	7月28日	三条市役所 栄庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H26年度活動実績報告、H27年度活動計画</li> <li>・虐待の重症度及び支援方針基準表の見直し</li> <li>・虐待防止に向けて各機関の取組報告</li> </ul>	21機関
実務者会議 <ケース進行管理検討会議>	第1回	6月4日	三条市役所 栄庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全虐待管理児童等の支援体制の確認</li> </ul>	11機関
	第2回	9月3日			8機関
	第3回	12月22日			9機関
	第4回	3月3日			5機関
個別ケース検討会議	69回	随時開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関わる関係者が参集し、情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担について検討を実施</li> </ul>	

## 3 啓発活動

- (1) 児童虐待防止推進月間において啓発活動を実施
  - ア 市役所職員によるオレンジリボンの着用と窓口カウンターに卓上型のぼり旗を設置
  - イ 国や県からのポスター、チラシ、カードなどを活用し市民に啓発
  - ウ 燕三条FM「インフォメーション」にて虐待防止を啓発
- (2) 年度当初に保育所（園）・学校の実務担当者に対して、児童虐待対応について周知

## 4 研修会

月 日	場 所	内 容 等	参加人数
2月1日（月）	三条市役所 栄庁舎	講 義：子ども虐待の現状と地域における支援 講 師：子どもの虹研修センター 川松 亮 氏 対象者：小中学校職員、保育所（園）・幼稚園職員、 児童クラブ職員、虐待防止部会実務者	67人

## 5 その他の関係事業

子育て講座：NP講座（Nobody's Perfect～完璧な親なんていない～）

BP講座（baby Program「赤ちゃんがきた！」）

【目的】乳幼児を持つ保護者の育児不安等を軽減し、児童虐待の予防推進を図るとともに、保護者同士の情報交換や仲間づくりを支援する。

【実績】NP講座：全6コースを4回実施、参加者数延べ345人

BP講座：全4コースを3回実施、参加者数延べ162人

## 6 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
<p><b>【実務者会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三条市の児童虐待の現状理解と各関係機関の役割や課題について意見交換し共有したことにより、虐待予防のための効果的な支援体制を考える機会とすることができた。</li> </ul> <p><b>【ケース進行管理検討会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの虐待の重症度判定表を見直し、平成 27 年度から運用を開始した。より現状に即した内容となり、適切かつ効率的に重症度を判定できるようになった。</li> </ul> <p><b>【個別ケース会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関がそれぞれの専門性を活かし、他の関係機関との連携を密にした支援の必要性に対する意識が高まり、ケース会議が適宜開催されるようになってきている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">H22 年度 26 回 → H27 69 回</p> <p><b>【専門研修会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関が通告後の役割や対応方法等の理解を深めるために研修を行った。参加者からは、関係機関の連携や保護者支援の重要性について理解することができたが、更に具体的な支援について知りたいという感想があった。</li> </ul> <p><b>【啓発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の児童虐待防止推進月間において、市役所職員によるオレンジリボン着用と窓口カウンターに卓上型のぼり旗を設置したことにより、職員及び市民の関心や意識向上につながった。</li> </ul>	<p><b>【実務者会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受動的な会議となりがちであり、会議の活性化を図るため、会議の目的の理解と参加への動機づけを高めることができるような内容の検討が必要である。</li> </ul> <p><b>【ケース進行管理検討会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年保護者や子どもの犯罪、面前DV等処遇に専門的知識が求められる事例が増えてきていることから、警察や司法関係機関との連携を密に対応する必要がある。</li> </ul> <p><b>【専門研修会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者から、具体的な支援に関する研修の要望があったことを受け、演習を取り入れる等、関係機関が具体的な支援について理解を深め、かつ能動的な研修となるような内容を検討していく必要がある。</li> </ul> <p><b>【啓発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジリボン着用について、更なる拡大を図り、啓発を強化していく。</li> </ul>

## 《平成 28 年度活動計画》

### 1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第1回	7月	三条市役所 栄庁舎	・ケース進行管理検討会議の実績報告、事例検討
実務者会議 ＜ケース進行管理検討会議＞	第1回	6月 9日	三条市役所 栄庁舎	・虐待管理児童等の状況確認及び援助方法等の確認、見直し
	第2回	9月 6日		
	第3回	12月 7日		
	第4回	2月 28日		
個別ケース検討会議	随時開催			・情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担

### 2 啓発活動

- (1) 児童虐待防止推進月間において啓発活動を実施
  - ア 市役所職員によるオレンジリボンの着用と窓口カウンターに卓上型のぼり旗を設置
  - イ 国や県からのポスター、チラシ、カードなどを活用し市民に啓発
  - ウ 燕三条FM「インフォメーション」にて虐待防止を啓発
- (2) 年度当初に保育所（園）・学校の実務担当者に対して、児童虐待対応について周知

### 3 研修会

月 日	場 所	内 容 等	参加 予定人数
未定	未定	・児童虐待の早期発見・対応から、その後の支援・見守りに ついての事例検討及び演習を通して資質の向上を図る。	未定

### 4 その他の関係事業

- ・子育て講座：NP 講座（Nobody's Perfect～完璧な親なんていない～） 全6コースを4回実施予定  
BP 講座（baby Program「赤ちゃんがきた！」） 全4コースを4回実施予定
- ・乳児全戸訪問（こんにちは赤ちゃん）事業  
生後4か月以内の乳児がいる全ての家庭を助産師、看護師等が訪問し、子育てする家庭の孤立感を防ぎ、乳児の健全な育児環境の確保を図る。
- ・健康推進員による乳幼児健診等の案内配布  
子育て中の保護者と地域をつなぎ、育児不安の軽減と孤立化予防を目的として、3か月児健診、10か月児健康相談会の案内を家庭訪問により配布する。
- ・養育支援訪問事業  
若年妊婦や精神的疾患等がある妊婦に対して、妊娠期から出産後間もない時期に、助産師が家庭訪問し、きめ細やかな対応を行う。